

# 活動報告

平成30年(2018年)  
11月25日第14号

石岡市議会議員

# 櫻井 茂



■発行/櫻井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28  
 ■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451  
 ■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail [sakurai@sakurai.click](mailto:sakurai@sakurai.click)  
 ■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> 討議資料

新庁舎は12月中旬に竣工し、1月4日から利用開始となります。バリアフリー対応により段差を極力無くした庁舎となっております。ただし、本体工事が遅れた影響を受けて駐車場工事に遅れが出ていますので、ご利用の際には、譲り合いの精神でご利用いただきたいと思います。

茨城県議会議員選挙は激戦が予想されます。そして来年4月中旬の石岡市議会議員選挙を意識した動きも出始めました。一喜一憂せず着実に歩むことを心がけておりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。寒暖の差が激しい時期となりました、どうぞ体調には十分ご注意ください。

## 一、再び議員辞職勧告決議を可決

### (1) 議員辞職勧告決議案の内容

第3回定例会最終日、再び『高野要議員に対する議員辞職勧告決議』案が関口議員から提出され、賛成多数で可決となりました。

決議案(抜粋)は次の通りです。  
 石岡市政治倫理条例に反するとし、高野要議員に対する議員辞職勧告決議案が賛成多数で可決されたが、何ら反省することなく、7月4日に弁明の記者会見を開いている。

先ごろ、高野要議員は自身の議員活動報告書を作成し、事実と反する内容を掲載したうえ、同じ市議会議員を誹謗中傷する記事を記載している。さらには、この活動報告書経費について、公費である政務活動費を充てようとしている。

石岡市議会基本条例及び石岡市政治倫理条例に反する行為を繰り返す高野要議員の行為は、議員としてあるまじき行為と言わざるを得ない。

そこで、自らの責めを負って、社会的道義的責任を感じ、自らの意思により速やかに議員の職を辞することをここに勧告する。  
 以上、決議する。

### (2) 辞職勧告決議案に対する質疑

関口議員が提案理由を説明した後、提案理由に対する質疑となりました。

徳増議員が「野村先生(地方議会運営研究者)の本には、議員が同じ議員の身分を奪うようなことをしてはいけないと書かれており、議員にはそのような権限は無いがどう思うか」と質問。

これに対して関口議員が「徳増議員も同じように辞職の件(勧告決議)をしており、権利はあると思っている。」と答弁。再度、徳増議員が質問に立ち、提案理由に関係のない発言を始めたため、議長が何度も注意を行い質問は終了。

### (3) 論点がずれた反対討論

続いて討論となり、徳増千尋議員が決議案反対の立場から「コップの中のケンカはやめて市の行政課題の解決をすべき」と発言。議員席から「隣の人(高野議員)に言ったら」との声が・・・。行政課題の解決には市民の理解が必須です。課題解決とは言え、公平・公正を放棄した議員活動に市民の理解が得られるとは到底思えません。

### (4) 決議案は賛成14、反対5、棄権1で可決

採決では、議長の「賛成の諸君の起立を求めます」との言葉に賛成議員が起立。結果は、起立多数で**議員辞職勧告決議案は可決**となりました。

賛成議員	議員
新田和井	議員
大川井	議員
櫻井橋村	議員
石勝田	議員
勝谷大	議員
山本上	議員
村岡田	議員
関池谷	議員
塚島	議員
反対議員	議員
玉造(信)	議員
櫻井沼	議員
菱徳	議員
鈴木	議員
棄権議員	議員
小松	議員

高野議員は、議会終了後の新聞記者の取材に対して「選挙妨害だ」とコメント。

その後、10月4日付け読売新聞及び朝日新聞に、高野議員が6月の議員辞職勧告決議で名誉を傷つけられたとして、市に10万円の損害賠償請求訴訟を起こしたとの記事が掲載されました。

市は請求棄却を求め争う姿勢を示しています。

## 一、茨城県議会議員選挙

### (1) 石岡市選挙区(定数2) 立候補予定は3名

立候補を表明しているのは、戸井田県議、新人の谷島洋司氏と大森信人氏の3名です。

市議会議員の多くは、それぞれに3名の候補予定者を応援しており、私は大森氏の選挙対策本部副本部長として行動しています。石岡の将来に向けて大事な選挙となります。棄権することなく人柄を見極めて、投票所に足を運んでください。

## 三. 不適切文書調査特別委員会

### (1) 証人尋問

第3回不適切文書に関する調査特別委員会（山本進委員長）が8月8日に開催され、証人尋問が行われました。証人は、懲戒処分を受けた市職員4名。証言に際し、議員・証人・傍聴者等全ての者が起立し、証人による「宣誓書。良心に従って真実を述べ、何事も隠さず、また何事も付け加えないことを誓います」という宣誓書の朗読が行われた後に、質疑が行われました。

### (2) 証言内容（調査特別委員会会議録抜粋）

#### ◆都市建設部職員3名の証言要旨

①A証人 高野議員から、出し山農村公園の草刈契約に関する業務報告書の作成を依頼された。高野議員から何度も書き直しを求められ、上司の許可を取り渡した。自分の信条には反していた。

②B証人（Aの上司） 高野議員の求めに応じて文書を作成し渡した。部内3名の判断で行ったが、文書管理の認識が甘かったと反省している。  
高野議員宅で私とAは4時間にわたり大きな声で怒られたことがあり断り切れなかった。議員は1日1回ないし2回、週に3回・4回は職場に来ていた。懲戒処分はしようがないと思っっている。

③C証人（A・Bの上司） 文書作成は副市長及び市長に相談していない。私の判断で文書を作成し提供した。公文書ではなく不適切文書だとも思っていない。当時の担当部長として深く反省している。処分に関しては不服申し立てを行っている。

#### ◆職務権限のない文書作成と提供を行った職員

### (八郷総合支所長)の証言要旨

④D証人 湖北環境衛生組合が業務委託をしていた柏山浄化プラント対策委員長から依頼され、以前の所属職名を使い、日付も遡って文書を作成し対策委員長に渡した。認識が無く作成した。

### (3) 傍聴者への退室命令

文書作成に至る生々しい背景が証人の証言で明らかになるにつれ、一部の傍聴者が委員長の注意に従わず大声を出したため、傍聴人1名に退室命令が出されました。ここにもモラルそして傍聴規則を守れない人がいました。

### (4) 調査経費として50万円を追加

調査特別委員会を設置した際に、調査経費として50万円を予算化しています。今後、調査経費が不足することが予想されるとして、第3回定例会最終日に50万円を増額することが提案され可決されました。

### (5) 市民を参考人意見聴取で招致するも拒否

調査特別委員会（第6回）を9月27日に開催。出席を求めた参考人（市民）はこれを拒否。そのため、拘束力のある証人尋問に切り替え、改めて10月19日の調査特別委員会（第7回）に複数の市民を証人招致。柏山浄化プラント対策委員長は、医師の診断書を提出し欠席。出し山農村公園草刈り関係市民は出席しましたが、虚偽と思われる証言を行いました。しかし虚偽答弁による処罰を恐れたのか、委員会終了後に証言訂正を申し出たため、再度証人尋問を行うことになりました。

### (6) 特別委員会の審査妨害で退室命令

調査特別委員会（第8回）が10月31日に開催され、冒頭に証人が証言を訂正。その後、委員から質問が出るたびに大声を出す傍聴者に加え、傍聴席から証人にアドバイスを送る審査妨害行為を繰り返す高野議員に対し退室命令が出されました。

### (6) 現職市議会議員の証人尋問

職員4名と市民の証人尋問が終わり、残るは高野議員の証人尋問となります。第4回定例会で調査結果報告を予定していることから、現職市議の証人尋問は11月中旬頃とみられます。

## 四. 第3回定例会で行った一般質問

### (1) 職員の定員管理と人材育成について

石岡市の行政を進める上で、市職員は屋台骨といふべき役割と責任を担っています。公務員としての能力を引き出し発揮できる定員管理と人材育成について伺います。

#### (1) 適正な職員数の確保について伺います。

総務部長答弁要旨 行財政運営を進めるため、平成29年度から10か年の定員管理計画を策定。計画は国の示す算式で算出し548人。現在の実数は513人。なお、平成20年度は575人。少ない数は再任用、臨時、嘱託職員を活用している。

#### (2) 業務量の算定と人事配置について伺います。

総務部長答弁要旨 毎年度7月には課長級、1月には部長級ヒヤリングを行い、権限委譲や新年度に向けた業務量を踏まえ、課や担当の現状や今後の業務量の把握を行い、人事配置を行なっている。市長公室次長答弁要旨 市に権限移譲された事務は62事務のうち移譲済みは49事務となっている。

再質問 権限委譲で事務量が増加、さらに療養休暇等で職員数が減り、職員が疲弊している。定員管理計画を見直すべきだと思いが見解を伺います。総務部長答弁要旨 定員管理計画については、一般的な事情により見直しを検討していきたい。

#### (3) 人材育成について伺います。

総務部長答弁要旨 人事評価システムにより、職員の改善点や育成点を明確化させ給与等の処遇に反映させ、組織目標の実現につなげている。また職員研修の充実も図っている。

再質問 懲戒処分を受けた管理職員が部下を評価している。そろそろ部下が上司を評価する多面的評価を導入すべきと思うが市長の見解を伺います。市長答弁要旨 検討の必要が有ると思いますが、本来の人事評価制度を適切に運営していきます。

## (2) 石岡市民会館の今後について

築後52年、老朽化著しい市民会館大ホールの耐震診断結果は、危険な状態と報告されています。早急に移転を判断すべきと考えますが、今後の方向性を伺います。

(1) 安全対策について伺います。

①耐震補強等の構造強化対策について伺います。

生活環境部長答弁要旨 平成23年の東日本大震災直後にオーデトリアムの柱や天井、壁のひび割れを補修。同年7月に大ホールの天井と地下駐車場の柱の改修工事を行った。

再質問 耐震診断を行った時期を伺います。

生活環境部長答弁要旨 平成26年1月に実施。

②迅速な避難に向けた改修について伺います。

生活環境部長答弁要旨 大ホール入り口の壁面に市民会館避難経路図を設置した。

意見 迅速な避難に向けた改修が避難経路図の取付けとありますが、効果はないと思います。

③避難誘導方法について伺います。

生活環境部長答弁要旨 避難マニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施している。大ホールの避難に要する時間は10分程度を想定している。

(2) 個別設計画策定の検討状況を伺います。

生活環境部長答弁要旨 市民会館の個別設計画の策定期間は来年9月を予定している。

再質問 耐震診断が出てから4年半が経過し、来年9月の個別設計画策定まであと1年。今後も危険な状態が続くが市長の見解を伺います。

市長答弁要旨 様々な視点から検討協議が重要。

選択肢として新築それから市内公共施設や隣接自治体施設の有効活用等を踏まえ考えていきたい。

提言 危険な状態との耐震診断が出ている以上、それを放置するのは、行政としていかなるものかということはおし上げておきます。

## (3) 個別計画（事業計画）と予算計上について

平成30年度予算では、事前説明も無く、その計画性に疑問を示された事業がありました。これらの事業がどのように計画されたのか伺います。

(1) 統合保育所整備事業について

①平成27年9月に第一・第二保育所を廃止するが新設はしないとの方針が示されたが、突然方針転換し事業化された理由を伺います。

保健福祉部長答弁要旨 待機児童を出さない使命があり、第一・第二保育所の存在が大きいため。

②4月から保育料の無償化が開始される。将来の財政負担の検証をされたのか伺います。

保健福祉部長答弁要旨 保育料の無償化に伴う財政負担は検証していない。

③関係会議、関係団体との協議状況を伺います。

保健福祉部長答弁要旨 関係団体と意見交換会を行なった。貴重な意見として、事業規模や定員、発達障害児の対応などの計画推進をはかる。

再質問 答弁とは違い、議会が決めたと関係団体に説明する等、行政が事業を進める手法とは掛け離れていると感じるが、市長の考えを伺います。

市長答弁要旨 様々な点で至らない点があった。今後、話し合いを持ち計画の完成を目指したい。

(2) 体験型イベント用山車製作について

①事業を計画化した動機と目的を伺います。

経済部長答弁要旨 地方創生推進交付金を活用し観光連携促進事業として、保存されている山車を修復活用していく。体験型観光を考えている。

再質問 何故山車なのか。

経済部長答弁要旨 本物に触れ体験していただくというところで山車の修復になった。

②事業の進捗状況について伺います。

経済部長答弁要旨 山車の修繕実行委員会を立ち上げるところで協議には入っていません。

再質問 体験型は幌獅子でやるべきです。獅子頭をもむ、掛け声をかける。獅子頭に頭を噛んで欲しいという観光客の依頼も多く、インスタ映えや安全性も高い。市長の見解を伺います。

市長答弁要旨 体験型のおまつりは費用対効果を考えて、山車・獅子を比較検討したい。獅子は議員が言われたようなバリエーションがある。いずれにしても体験型を推進していきたい。

(3) 個別計画の精査と予算化について

①個別計画の位置づけと検証方法を伺います。

市長公室次長答弁要旨 全国的に公共施設の老朽化が大きな課題となり、国はインフラ長寿命化基本計画を定め、平成32年度までに施設ごとの個別設計画の策定を求めており国の動きと歩調を合わせています。検証は内部の公共施設等総合管理計画推進本部及び外部の公共施設等総合管理計画員会で審議されます。

②事業の実現性をどのように検証し予算化しているのか伺います。

市長公室次長答弁要旨 政策企画課が中心となり、上位計画との整合性、目的、効果、財源、他の手法との比較検討等を聞き取りしている。

再質問 査定における説明と実際が違っている統合保育所整備事業と山車製作委託を指摘しましたが、4月以降に再検証していますか。

市長公室次長答弁要旨 指摘の2件について、副市長ミーティングは実施していません。

再質問 予算が付けば投げっぱなしというのが現状ということが分かりました。計画から始まり予算付け、実行まで統一的な管理運営をきちんとやっていただきたい。市長の見解を伺います。

市長答弁要旨 最終的に判断は、私が下すわけです。流れが一連の流れとなって組織が一枚岩になつていく努力をしたいと思えます。

## 五. 総務委員会報告

### (1) 新庁舎一般駐車場の競争入札結果について

#### ① これまでの経過

前回の議員活動報告において、一般駐車場工事を一般競争入札ではなく、新庁舎本体工事業者に随意契約で発注したいとの市の説明に対し、私がい県での入札妨害行為により指名停止にすべきではないかと疑問を呈した結果、駐車場工事は一般競争入札になったことを報告いたしました。

#### ② 新庁舎一般駐車場工事の入札結果

この一般駐車場工事（舗装条件を外した路盤整備）の入札が8月7日に実施され、税抜き予定価格1億2千195万円を大きく下回る8千280万円で落札されました。

#### ③ 競争性が発揮された一般競争入札

市担当者は、一般駐車場工事を随意契約にするとう工事費が安くなると強調していましたが、一般競争入札の結果を請負比率68%で見た場合、競争性が十分に発揮され、法令遵守と公平性が保たれたものと受け止めています。

### (2) 新庁舎建設現場視察

10月5日、総務委員会を開催し新庁舎の建設現場を視察いたしました。（高野議員及び徳増議員は現地視察を欠席）

本体工事の工期は12月15日。最後の仕上げ段階に入っており、来年1月4日から新庁舎で業務が開始されます。

免振装置のデータ偽造が話題となつていますが、新庁舎で使用している免振装置は、データ偽造対象外品であることが確認されています。



## 六. 石岡地域市民医療懇談会

### (1) 危機的な医療環境改善に向けて

第3回石岡地域市民医療懇談会が10月31日、市民会館大ホールで開催されました。

第2回市民医療懇談会は、ふれあいの里で開催され284人の市民が参加。石岡市内では分娩が可能な産婦人科医院が無くなり、小児科診療医師も減少。さらに石岡市医師会に加盟する医師の平均年齢は63歳に達しており、石岡地域の医療環境が危機的状況であることが明らかになりました。

#### (2) 石岡市の認識とこれまでの取り組み

私は、平成28年第4回定例会及び平成30年第1回定例会において、産婦人科医師の招へいに向けて、市が補助制度を整備すべきとする一般質問をしました。担当部長の答弁はいずれも「県に協力を求めていく」というもので全く実効性の無いものでした。何故なら茨城県は、住民10万人当たりの医師数が全国で下から2番目の為、県が石岡市を優遇し、医師を派遣できる状態にありません。

#### (3) 医師招へいに向けた医療懇談会結成

市長は私の質問に「医療懇談会を結成して協力を進める」と答弁した通り、石岡市医師会に協力を求め、石岡地域市民医療懇談会を結成。石岡市・小美玉市・かすみがうら市で協議を始めました。

#### (4) スピード感を持った取り組みが必要

10月30日、市民会館で開催された懇談会では、市民代表から具体的な提案も出され、大きく前進するかと思いきや、結果は石岡市・小美玉市・かすみがうら市の連携と医師の受け皿づくりに向けて協議会を作り一年を目途に方針を決める。との発表に会場からは「もっとスピード感を持ってほしい」という注文が出ました。医師会長も同様の見解を示しており、市民提案の採用と合わせ迅速な取り組みを求めて行きたいと思えます。

## 七. 議会を傍聴してみませんか

平成30年第4回定例会は11月27日、八郷総合支所議場で開会いたしますので、是非傍聴していただきたいと思えます。

議会のテレビ中継は、本会議（開会・一般質問・議案質疑・閉会）を放映しています。市役所本館ロビー、まちかど情報センター、八郷総合支所1階ロビー設置のテレビで放映します。着色してある会議は私が出席を予定している会議となります。

平成30年 第4回定例会日程

月 日	曜	会 議 内 容
11月27日	火	開会
11月28日~12月2日		休会
12月3日	月	一般質問
12月4日	火	一般質問
12月5日	水	一般質問
12月6日	木	議案質疑
12月7日	金	教育福祉環境委員会
8日・9日		休会
12月10日	月	総務委員会
12月11日	火	経済建設消防委員会
12月12日	水	議会改革推進特別委員会
12月13日	木	議会運営委員会
12月14日	金	採決・閉会

## 八. 議員活動報告について

活動報告は、私の行なった一般質問、さらには議会・議員の活動や市政の様子を中心にまとめています。本会議や委員会で起きている事実を身近に感じていただけるよう事実を正確に記載することを心がけております。

本会議や委員会の発言は、図書館あるいは市議会ホームページにおいて会議録をご確認いただければ幸いです。また、市政についての意見交換についても対応したいと思えますので、遠慮なくご連絡をいただきたいと思います。